

火山と生きる

知恵を求めて

2025火山砂防フォーラム開催



1. 噴火について意見を交わした火山砂防フォーラム
2. 火山の脅威と恵みを解説する火山マイスター
3. 火山との共生を語るパネリスト
4. 噴火の爪痕が今も残る虻田町営浴場



火山を抱える自治体など
が火山砂防について
考える「2025火山砂防
フォーラム」が10月30、31日、
洞爺湖町文化センターで開か
れました。

道内外の行政機関などから
約800人が参加し、初日は、
洞爺湖有珠火山マイスターと
御嶽山火山マイスターの5人
が活動報告。2000年の有
珠山噴火や、多くの死傷者を
出した2014年の御嶽山噴
火など火山の危険を指摘しな
がら、地元観光に与える恩恵
も解説。火山と共生するため
に噴火について学び続ける意
義を語りました。

は、パネリストとして北海道
大学大学院理学研究院の青山
裕教授、洞爺湖温泉観光協会
の越後進一副会長、洞爺地区
に移住して雑貨屋を営む宮本
好さん、下道町長が登壇しま
した。

宮本さんは「豊かな自然が
あり、子育てしたいと思わせ
る何かを求めて集まる人が増
えていると思います」、越後
さんは噴火当時の混乱を語り
ながら「噴火は怖いが良質な
温泉も火山活動があるからこ
そです」とそれぞれ有珠山が
もたらす恵みを語りました。

この他にパネリストから
は、有珠山には泥流災害を防
ぐための砂防ダムがあるた
め、砂防施設を活用したアド
ベンチャーツアーの実施や、
砂防施設による土砂災害のコ
ントロールなど災害に強いま
ちづくりについて提言があり
ました。

最終日の2日目は、現地研
修会が行われ、参加者が火山
科学館や金比羅火口災害遺構
などを見学して有珠山噴火に
ついて学びました。

ワンポイント 手話

毎月、職員が今月の手話を紹介します。
第76回目は介護高齢課中西俊介です。
■問合せ 健康福祉課福祉支援係 (☎ 76-4006)



左手は指を丸めて置き、左手の下からすばめた右手を上げな
がらパッと開きます。